

宮崎県（木造建築物に携わる建築士育成による普及啓発）

- 本県では、今後重要となる非住宅分野等の木造化・木質化を進めるために不可欠な木造建築物の設計スキルを持った建築士が不足している。
- このため、木造設計に関する構造や防耐火等の識者による講習会等を開催することで、木造建築物の設計スキルを持った核となる建築士を育成し、県内の非住宅分野等における木造化・木質化の推進を図る。
- 令和6年度は、中高層木造建築物等の今後の展開や地域材の活用事例、法令改正に関する知識のスキルアップや県産材の規格・性能や流通等の知識の習得に取り組んだ。

事業内容

1 みやざき材を魅せる「空間・人」づくり事業（建築士育成事業）

- ・ 木造建築の設計に必要な構造、防耐火、遮音等、その他分野の識者を講師にした「みやざき木造塾」を開催し、建築士の育成を図る。

【事業費】3,190千円（うち譲与税1,595千円）

【実績】

- 第1回 9月21日 講義：中高層木造建築物の今後の展開 参加者：28名
第2回 11月9日 講義：大規模木造建築普及への道 参加者：20名
第3回 12月13日～12月14日 現地見学会：立野駅、木材加工施設等 参加者：12名
第4回 1月12日 講義：地域の力と地域材で創る木造公共建築 参加者：20名
第5回 2月21日 現地見学会：アスリートタウン延岡アリーナ、野口遵記念館等
参加者：19名
第6回 3月8日 講義：木造建築の構造に係わる法令改正、事例紹介 参加者：29名
※木造マイスター登録者：33名（R7.5月時点）

取組の背景

- ・ 非住宅分野等の木造化・木質化を進めるために不可欠な木造建築物の設計スキルを持った建築士が不足している。
- ・ 県内の非住宅建築分野の木造化・木質化を推進する必要がある。



（みやざき木造塾2024の様子）

工夫・留意した点

- ・ 「みやざき木造塾」の修了者で一定の要件を満たすものを「木造マイスター」として登録することで、木造建築物に携わる建築士等の養成及び確保を図る。

取組の効果

- ・ 法令改正に関する知識のスキルアップや県産材の規格・性能や流通等の知識の習得することができた。
- ・ 木造建築物の設計スキルを持った核となる建築士の育成を行うことができた。

基礎データ

①令和6年度譲与額：200,856千円	②私有林人工林面積（※1）：230,240ha
③人口（※2）：1,069,576人	④林業就業者数（※2）：3,587人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より